

海老名の史跡めぐり

実施日；2018年7月21日

コース；かしわ台駅(WC)→ 長ヲサ遺跡→ 産川橋→ 上今泉コミセン(WC)→ 秋葉山古墳群  
→ かいな坂→ 龍峰寺(WC)→ 弥生神社→ 相模国分尼寺跡→ 逆川船着場跡→ 相  
模国分寺跡→ 大ケヤキ→ 国分寺解散(約6km)(海老名市温古館は解散後自由参観)

NO	見所	由来・史跡
1	柏ヶ谷・ 長ヲサ遺跡	旧石器時代の大規模な遺跡で、市内最古の遺跡と思われる。昭和56～57年(1981～2)の発掘調査によって、畿内地方特有の技法で作られた国府型ナイフ状石器が出土、東西交通を物語る貴重な資料である。また、約2万5千前のナイフ形石器や、約1万2千年前の細石器なども出土している。
2	産川橋	永享の乱(1438)で護王姫(今泉館夫人)は落ち延びる際、橋のたもとで出産したことから名付けられた。姫は出産後亡くなり、子供も追討軍に殺されたといわれる。
3	秋葉山古墳群	座間丘陵の頂部に現存する6基の古墳群で、3世紀後半～4世紀にかけて造られた。平成17年に国の指定史跡となる。古墳は古い順に3号墳、4号墳、2号墳、1号墳でいずれも前方後円墳、5号墳は方墳と考えられている。6号墳は未調査。
4	かいな坂	永享の乱で護王姫と家臣達が落ち延びる際、この坂で追討軍に追いつかれ、姫の護衛兵は全員討ち死にしたことで「不甲斐ない坂」と云われていたが、それがいつの日からか「かいな坂」に転化したと云う。
5	龍峰寺 臨済宗	室町時代の南北朝期(1331～93)に創建されたと云われ、昭和4年(1939)に海老名小学校近くから、この地に移転した。古くは清水寺と呼ばれた。文化財には国指定の千手観音、市指定の観音堂、仁王門、仁王像などがある。
6	弥生神社	明治42年(1909)に近隣4社を合祀、3月に建てられたことから弥生神社と命名。「国分村・八幡社、上今泉村・比良神社、柏ヶ谷村・第六天社、望地・大綱神社」
7	相模国分尼寺 跡	国分寺と同様、天平13年(741)聖武天皇の「国分寺建立の詔」により建てられ国分寺の北方約600mに位置している。建立は8世紀後半頃といわれる。発掘調査により、伽藍の配置あとが確認された。遺構の保存状態は良い。(国指定史跡)
8	逆川船着場跡	逆川是最古の人工の水路で、目久尻川から水を取り入れて海老名耕地に流れていた。国分寺付近では南から北に流れていたのが「逆川」と呼ばれるようになった。この船着場跡は、平安時代以前に造られたと推定されている。
9	相模国分寺跡	尼寺同様「国分寺建立の詔」により創建された。全国でも珍しい「法隆寺式伽藍配置」で、南北300m、東西240mという広大な寺域を占め、全国の国分寺の中でも最大クラスの規模であった。建物の跡は七重の塔、金堂、講堂、僧坊、鐘楼、経蔵、中門、回廊などが確認されている。(国史跡指定)
10	大ケヤキ 県指定	樹齢600年と云われる。大昔、この辺りが入江になっていた頃、漁師が船を繋ぐため打ち込んだケヤキの杭が、根付いて成長したとの伝承がある。
11	国分寺 真言宗	梵鐘は物部国光の作で正応5年(1292)源季頼の寄進で、国の重要文化財に指定されている。境内は美しく整っている。

\*コースは、道幅・歩道が狭いので横に広がらないようご協力願います。

## 次回案内

## 陣ヶ下溪谷と水道の歴史探訪

日時：9月15日(土)相鉄線西谷駅 9時～15分受付

## 会員募集中!

\*問合せ先\* せや・ガイドの会・竹見 ☎ : 090-3900-6469) まで。